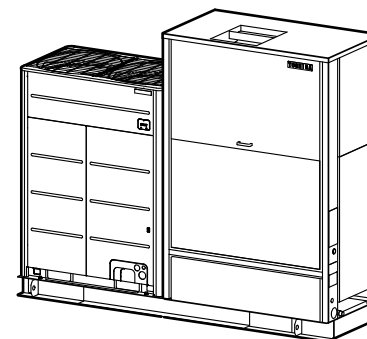


TOSHIBA



空冷式一体形パッケージエアコン シングルエース 〈外気処理仕様〉

取扱説明書



形 名	＜上吹タイプ＞ RDA-SUP2241HF, HFZ, HFZG RDA-SUP2801HF, HFZ, HFZG RDA-SUP4501HF, HFZ, HFZG RDA-SUP5601HF, HFZ, HFZG RDA-SUP6301HF, HFZ, HFZG RDA-SUP8001HF, HFZ, HFZG	＜横吹タイプ＞ RDA-SUP2241EHF, EHFZ, EHFZG RDA-SUP2801EHF, EHFZ, EHFZG RDA-SUP4501EHF, EHFZ, EHFZG RDA-SUP5601EHF, EHFZ, EHFZG RDA-SUP6301EHF, EHFZ, EHFZG RDA-SUP8001EHF, EHFZ, EHFZG
形 名 (別売品) リモコン	ワイヤード RBC-AMSU * * (省エネneoリモコン) 詳細設定はリモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。	

もくじ

安全上のご注意	2
リモコン各部のなまえとはたらき	4
各部のなまえ	5
正しい使いかた	6
タイマー運転	7
お手入れ	9
このようなときには	10
知っておいていただきたいこと	10
据付について	11
点検整備について	12
保守点検契約について	12
故障診断	13
仕様	15
保証とアフターサービス	16


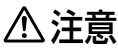
- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方がかわられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 本説明書は、RBC-AMSU52リモコンを接続した場合の操作方法を記載しています。
RBC-AMSU52以外のリモコンを接続する場合は、リモコンに付属の説明書をご覧ください。

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意




商品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明













表 示	表 示 の 意 味
 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死にまたは重傷（※1）を負うことが想定される内容」を示します。
 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される内容」を示します。

※1:重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる甚大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図 記 号 の 意 味
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。





《 I . 使用上の注意事項 》

 警告	
据付は、お買い上げの販売店または据付専門業者に 依頼する 据付には専門の知識と技術が必要です。 お客様ご自身で据付を行うと、火災・感電・けが・ 水漏れの原因になります。	 強 制
冷媒充填・回収作業については、第一種フロン類充填回 収業者に依頼する 冷媒充填・回収作業は専門の知識と技術が必要 です。ご自身で作業を行うと冷媒ガスが漏れる 原因になります。	 強 制
別売品は、必ず弊社指定の製品を使用する 指定以外の製品を使用すると、火災・感電・ 水漏れなどの原因になります。また、取付 は専門の業者に依頼してください。	 指定製品を使用する
可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない 万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・ 火災の原因になります。	 禁 止
長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない 体調悪化・健康障害の原因になります。	 禁 止
異常時（焦げ臭い・冷えない・暖まらない・内部に水や異物が入った など）は、運転を停止して、電源ブレーカーを切る そのまま使うと、火災・感電の原因になります。 修理をお買い上げの販売店または弊社支社店へ ご依頼ください。	 強 制
自分で分解・改造・修理・移設をしない 火災・感電・けが・水漏れの原因になります。 修理・移設は、お買い上げの販売店または 弊社支社店へご依頼ください。	 分解禁止
フロン類をみだりに大気中に放出しない フロン類を大気中に放出することは、法律で 禁止されています。	 禁 止
冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う 限界濃度を超えない対策については、販売店または 弊社支社店と相談して据え付けてください。 万一、冷媒が漏れいして限界濃度を超えると 酸欠事故や着火の原因になります。	 限界濃度を超えない対策をする
アース工事が正しくされているか確認する アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。 確認方法については、据付を行った販売店、または 据付専門業者へ問い合わせください。	 アースを確認する
空気の吹出口や吸込口などから物（金属・紙・水など）を 差し込んだり、中に入れたりしない 内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所が あるため、けがや感電の原因になります。	 禁 止



 警告	
エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因 のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店または弊社 支社店に相談する 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに 確認する エアコンに使用している冷媒は安全です。 冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に 漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの 火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実 に行われたことをサービスマンに確認してください。	 強 制
修理は、お買い上げの販売店または弊社支社店に相談する 修理に不備があると火災・感電の原因になります。	 強 制
長期使用で据付台などの傷みやねじなどの緩みがないか 確認する 傷んだ状態やねじが緩んだ状態で放置すると ユニットの落下につながり、けがなどの原因 になります。	 強 制
電気部品箱のフタを開けない 感電の原因になります。	 禁 止
パネルを開いたまま運転しない やけどやけがのおそれがあります。	 禁 止
電源ブレーカーの入／切によりユニットの運転／停止を しない 感電や火災の原因になります。	 禁 止
故障や破損をしたまま運転しない 修理に不備があると感電・火災などの原因となり、 重大な事故につながるおそれがあります。	 禁 止
配管工事が正しく行われているか確認する 既設配管を使用する場合は、正しく施工しないとエアコンが 故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。 正しく施工されていることを据付業者に確認してください。 据付に関することは据付説明書をご覧ください。 R410A用のツール・配管部材を使用してください。 専用の配管部材を使用していなかったり、据付に 不備があると、破裂・けがの原因になります。	 確認する
漏電遮断器（過電流保護機能付き）が正しく取り付けられ ているか確認する 漏電遮断器が正しく取り付けられていないと、感電の原因に なることがあります。確認方法については、 据付を行った販売店、または据付専門業者 へお問い合わせください。	 漏電遮断器の確認
モータ・コンデンサ・スイッチなど電気関係部品は水に 浸さない 故障や感電の原因になります。	 禁 止
ユニットのキャビネットや電気部品箱のフタをはずした まま運転しない 充電部を露出した状態で運転すると、 感電や火災の原因になります。	 禁 止
保護装置の設定は変更しない 不当に変更すると、火災などの原因に なります。	 禁 止
万一、冷媒が漏れたときは、ストーブなどの火気を消し、 床面を掃くように換気し、お買い上げの販売店・弊社 支社店または専門業者に連絡する 不燃性・無害性・無臭性の安全冷媒を使用して いますが、火気に触れると有害ガスが発生する 原因になります。	 強 制

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意	
食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しない 品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。  禁 止	エアコンの風が直接当たる場所には動植物を置かない 動植物に悪影響を与える原因になることがあります。  禁 止
燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする 換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。  強 制	ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する 配管工事に不備があると水漏れを起こす原因になります。  強 制 ドレン排水を確認する
エアコンの風が直接当たる場所で燃焼器具を使わない 燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。  禁 止	エアコンの上に液体の入った容器を置かない エアコン内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。  禁 止
エアコン本体を水洗いしない 感電の原因になることがあります。  禁 止	掃除をするときは、必ず運転を停止して電源ブレーカーを切る 内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。  強 制
エアコンの上に乗ったり、物を載せない 落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。  禁 止	ぬれた手でボタンを操作しない 感電の原因になることがあります。  禁 止
可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない 発火の原因になります。  禁 止	電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にする 故障・火災の原因になることがあります。  強 制 エアコン専用回路になっているか確認する
1年に1度は、据付台などが傷んでいないか点検する 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。  強 制	正しい容量の電源ブレーカーを使用する 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。  強 制 正しい電源ブレーカーを使用する
エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らない 転倒などけがの原因になることがあります。  禁 止	エアフィルターを水洗いしたあとは、水気をふき取って陰干する 水気が残っていると感電の原因になることがあります。  強 制
エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または弊社支社に依頼する 誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ・感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。  指 示	蒸気が多く発生するような場所、蒸気を発生させる機器近傍に室内ユニットの吹出口を設置しない ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。  禁 止 空気熱交換器のアルミフィンには触れない 触れると、けがの原因になります。  禁 止

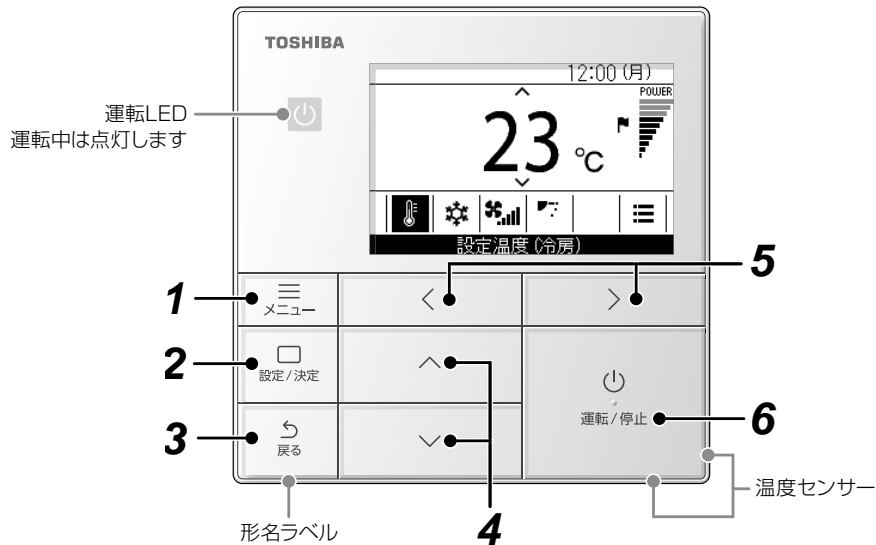
⚠ 注意	
正しい容量のヒューズ以外は使用しない 針金や銅線を使用すると火災の原因になります。  禁 止	圧縮機や冷媒配管などの高温部には触れない 高温部に触れると、やけどのおそれがあります。  禁 止
バルブ類は、取扱説明書・据付説明書・銘板の指示に従い、すべて開閉状態を確認する 特に、保安上のバルブ(安全弁など)は運転中必ず開いてください。開閉状態に誤りがあると、水漏れや火災・爆発の原因になります。  強 制	吹出口は火災報知器より 1.5m 以上離して設置する 火災発生時に火災報知器の作動が遅れる、または検出できない場合があります。  強 制

《Ⅱ. 移設・修理時の注意事項》

⚠ 警告	
冷媒や冷凍機油の種類を間違えない 火災・爆発の原因になります。  注 意	保護装置の設定は変更しない 火災などの原因になります。  禁 止
屋内で修理するときは、換気を行う 換気が不十分な場合、万一冷媒が漏えいすると、酸欠事故につながる原因になります。  強 制	冷媒の溶栓をハンダ付けしない 規定外の溶栓を使用すると、爆発の原因になります。  禁 止
室外ユニットへの冷媒回収は絶対にしない 移設や修理時の冷媒回収は必ず冷媒回収機で行ってください。室外ユニットへの回収はできません。室外ユニットへの冷媒回収を行うと、破裂・けがなどの重大な事故の原因になります。  禁 止	ユニットを移動再設置する場合は、お買い上げの販売店・弊社支社店または専門業者に相談する 据付に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。  強 制
改造は絶対に行わない 感電・火災などの原因になります。  禁 止	修理は、お買い上げの販売店または弊社支社店に相談する 修理に不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。  強 制
保護装置を短絡して、強制的な運転を行わない 火災や爆発の原因になります。  禁 止	

リモコン各部のなまえとはたらき

- 操作部**
- このリモコン1台で、室内ユニットを最大16台まで運転することができます。
 - 一度運転内容を設定すると、そのあとは『運転/停止』ボタンを押すだけでご使用になれます。



1 「≡ メニュー」ボタン

「メニュー画面」を表示します。

2 「□ 設定/ 決定」ボタン

設定の反映や決定などを行います。
使いかたは画面内に表示されます。

3 「⏮ 戻る」ボタン

選択の取り消しなどを行います。
使いかたは画面内に表示されます。

4 「▲」「▼」ボタン

設定の変更や項目の選択を行います。

5 「◀」「▶」ボタン

設定項目の選択をします。
その他の使いかたは画面内に表示されます。

6 「⏻ 運転/ 停止」ボタン

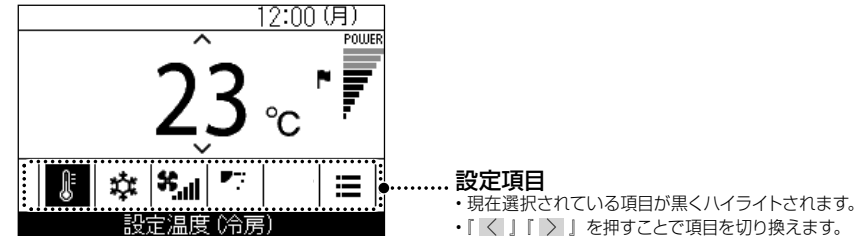
接続している機器の運転と停止を行います。

表示部

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。
●電源ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に「⏻」が点滅します。
この表示中は自動機種確認中ですので「⏻」が消えたあとリモコンの操作を行ってください。

■空調機メイン画面

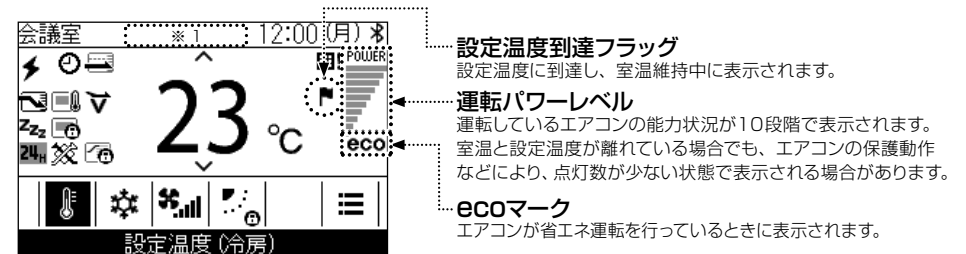
日常的によく使う設定温度・運転モード・風量・風向などの設定を変更または確認する画面です。
画面下部の設定項目の表示により現在の状態を確認できます。
「◀」「▶」を押すことで設定項目を切り換えて、「▲」「▼」を押すことで変更ができます。



お知らせ

- 設定温度はメイン画面で変更します。
- 機種により、設定できない機能や項目は表示されません。
- 設定を変更中に「⏮ 戻る」を押した場合および約 60 秒間ボタン操作がない場合、メイン画面に戻ります。

詳細表示画面（工場出荷時設定）



設定温度到達フラッグ

設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。

運転パワーレベル

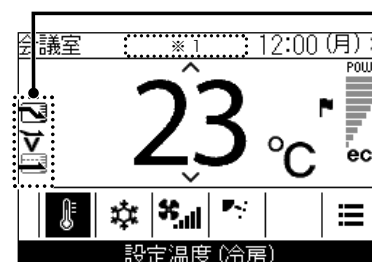
運転しているエアコンの能力状況が10段階で表示されます。
室温と設定温度が離れている場合でも、エアコンの保護動作などにより、点灯数が少ない状態で表示される場合があります。

ecoマーク

エアコンが省エネ運転を行っているときに表示されます。

簡易表示画面

画面に表示される情報を限定した「簡易表示画面」に変更することが出来ます。
詳細は、省エネneoリモコンの据付説明書をご覧ください。



簡易表示画面では一部のアイコンのみ表示されます。

※ 1 「暖房準備中」

「暖房」運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または「送風」運転になります。

「運転準備中」

機種によって表示する場合があります

「換気準備中」

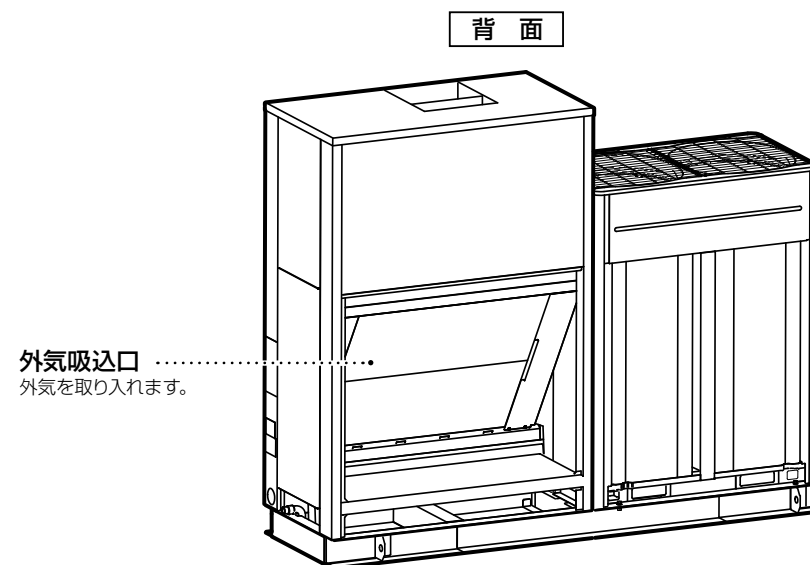
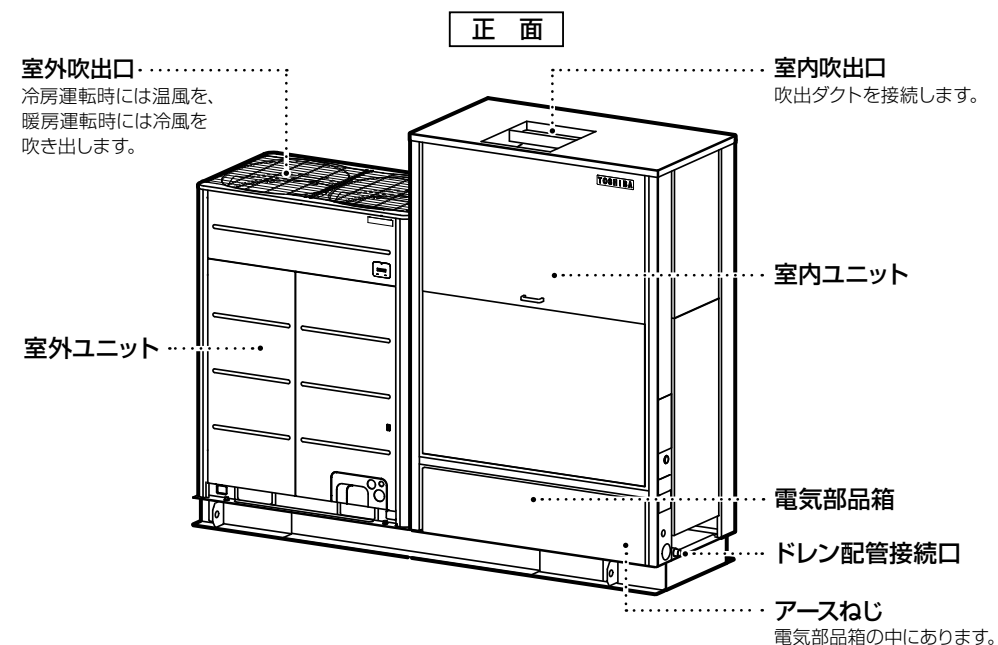
全熱交換ユニットの待機中に表示します。
表示中は全熱交換ユニットが停止になります。

リモコン各部のなまえとはたらき (つづき)

◆アイコン一覧

	「セーブ運転」が「有効」のときに表示されます。		「タイマー設定」が「有効」のときに表示されます。
	リモコンセンサーを設定したときに表示されます。		「フラップロック設定」が設定されているときに表示されます。
	「室外静音設定」が「有効」のときに表示されます。		フィルターのお手入れ時期になると表示されます。
	集中管理操作ロック中に表示されます。		「ソフト冷房」運転が「有効」のときに表示されます。
	「節約運転」が「有効」のときに表示されます。		運転モードが制限されているときに「運転切換」画面で運転モードを変更する操作を行うと約3 秒間表示されます。
	Bluetooth® 機能が「有効」のときに表示されます。 Bluetooth® 機能についてはBluetooth® 機能取扱説明書をご参照ください。		「空清」(空気清浄) 機能が「有効」のときに表示されます。
	点検コードが発生したときに表示されます。		通知コードが発生したときに表示されます。 詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。		エアコンに接続されている市販の換気ユニットが運転中のときに表示されます。

各部のなまえ (RDA-SUP5601HF <上吹タイプ> の例)




正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から『運転／停止』 ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備


電源ブレーカーを入れる



●電源が入ると、リモコン表示部に「」が表示されます。
※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受け付けませんが、故障ではありません。


お願い

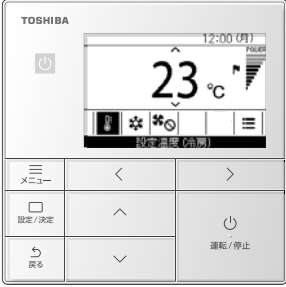
●使用期間中は電源ブレーカーを切らないでください。
●長期間停止後／運転開始をするときは、
12 時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

■運転のしかた



1 「 運転/ 停止」を押して運転を開始する
→ 運転LED が点灯します。



2 「」「」を押して変更したい項目を選ぶ
→ 以下の項目を変更できます。
設定温度
運転モード

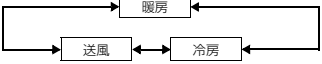
3 運転を停止するときは、再度「 運転/ 停止」を押す



■運転モードを変えるとき

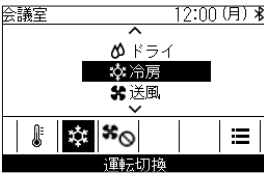
1 メイン画面で「」「」を押して「運転切換」画面に切り換える

2 「」「」を押して運転モードを選ぶ



お知らせ

室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。



お知らせ



冷房のとき





● 約1分後に運転を開始します。

暖房のとき

● 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
● 室外機の制御により、送風機が停止する場合があります。


■設定温度を変えるとき

1 メイン画面で「」「」を押して「設定温度」画面に切り換える

2 「」「」を押して設定温度を変更する
→ 設定温度は「」を押すと上がり、「」を押すと下がります。

設定温度範囲

運転モード	設定範囲	工場出荷時
冷房	13 ～ 25℃	18℃
暖房	18 ～ 30℃	25℃




お知らせ

● 「クール（ウォーム）ピズ設定」時は設定温度範囲が制限されます。
● 「送風」時は設定温度の変更ができません。
● 温度センサーが感知する温度は、室内ユニットの吹出口付近の温度ですので、据付状態により実際の室温とは多少異なる場合があります。設定温度は目安としてください。

■風量を変えるとき

風量は固定で変更できません。







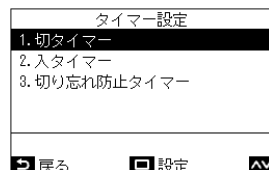
タイマー運転

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます)

切タイマー **入タイマー** **切り忘れ防止タイマー**
設定時間になると運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。 毎回、設定時間後運転を停止します。










■タイマーの種類を選択

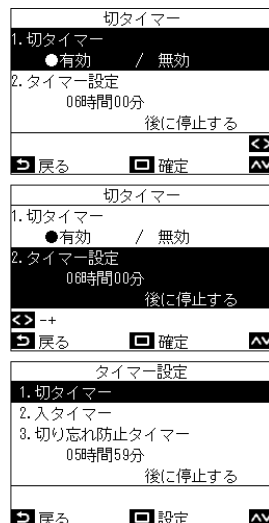
- 1 「メニュー画面」で「タイマー設定」を選んで『 設定/決定』を押す
- 2 『』『』を押して設定したいタイマーを選ぶ
- 3 『 設定/決定』を押す



■切タイマー

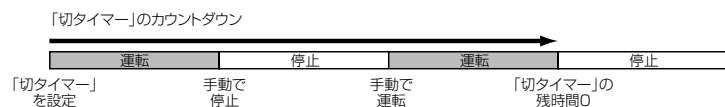
エアコンの運転を停止させるまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「切タイマー」画面で『』『』を押して「切タイマー」を選ぶ
- 2 『』を押す
→ 『』を押すと設定は解除されます。
- 3 『』『』を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 『』『』を押して時間を変更する
→ 24 時間までは30 分ごと、24 時間以後は1 時間ごとの設定ができます。
- 5 『 設定/決定』を押す
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。












お知らせ

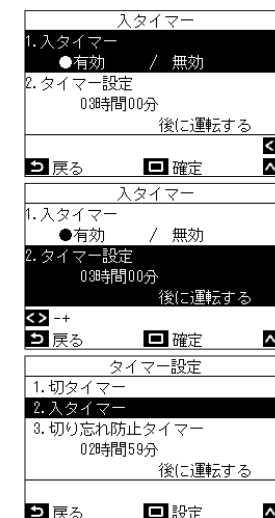
- 「切タイマー」で設定した時間が経過したあとに、エアコンの運転を停止します。
- 「切タイマー」によってエアコンの運転が停止されるまでの間に、エアコンの運転が停止・開始されても「切タイマー」のカウントダウンは継続されます。



■入タイマー

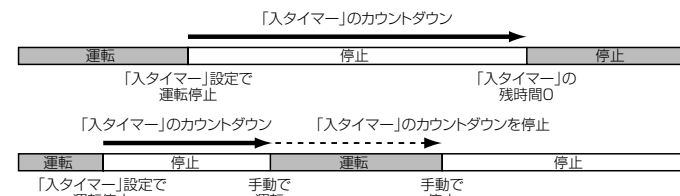
エアコンの運転を開始させるまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「入タイマー」画面で『』『』を押して「入タイマー」を選ぶ
- 2 『』を押す
→ 『』を押すと設定は解除されます。
- 3 『』『』を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 『』『』を押して時間を変更する
→ 24 時間までは30 分ごと、24 時間以後は1 時間ごとの設定ができます。
- 5 『 設定/決定』を押す
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。





お知らせ

- 「入タイマー」で設定した時間が経過したあとに、エアコンの運転を開始します。
- 「入タイマー」を設定した時点で、エアコンの運転を停止します。
- 「入タイマー」のカウントダウン中にエアコンの運転を開始したときは、「入タイマー」は「無効」になります。












「切タイマー」「入タイマー」動作について

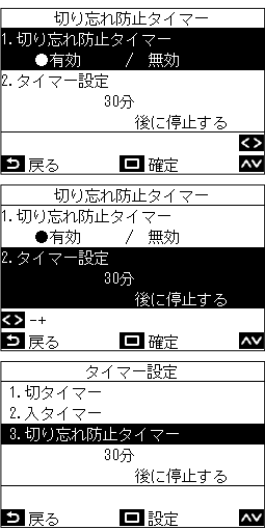
- 「切タイマー」「入タイマー」は1 回のみ有効です。
- 以下の場合には「切タイマー」「入タイマー」は動作しません。
「切タイマー」「入タイマー」無効中・機能設定中・集中管理中（「運転 / 停止」が禁止の場合）
- リモコンが2 台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「切タイマー」「入タイマー」の設定範囲は、最小 30 分から最大 168 時間（7 日）までです。
- 『 戻る』を押すと、変更は行われず、変更前の状態で「タイマー設定」画面に戻ります。
- 停電時は、「切タイマー」「入タイマー」設定は解除されます。（「無効」になります。）
- 「切タイマー」「入タイマー」が「有効」のとき、詳細表示画面に「」が表示されます。

タイマー運転(つづき)

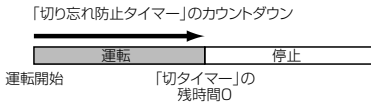


■切り忘れ防止タイマー

エアコンの運転開始から停止するまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「切り忘れ防止タイマー」画面で「」「」を押して「切り忘れ防止タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す
→ 「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する
→ 10 分ごとに設定ができます。
- 5 「 設定/ 決定」を押す
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。



お知らせ

- エアコンの運転を開始すると、設定した時間が経過したあと、エアコンの運転を停止します。

- 以下の場合は「切り忘れ防止タイマー」は動作しません。
「切り忘れ防止タイマー」無効中・異常中・試運転中・機能設定中・タイマー設定中・集中管理中(「運転/ 停止」が禁止の場合)。
- リモコンが2 台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「切り忘れ防止タイマー」の設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 「 戻る」を押すと、変更は行われず、変更前の状態で「タイマー設定」画面に戻ります。
- 「切り忘れ防止タイマー」が「有効」のとき、詳細表示画面に「」が表示されます。

お手入れ

お手入れの際は、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。

「点検周期」および「保全周期 / 交換周期」の目安について

保全周期／交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
下表は、頻繁な発停のない通常の使用状態で、運転時間を 10 時間 / 日、2,500 時間 / 年と仮定しています。
(一般社団法人 日本冷凍空調工業会「定期的な保守・点検のおすすめ」より)

主要部品名	点検 周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検 周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000 時間	バルブ (電磁弁・四方弁など)	1 年	20,000 時間
モーター (ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)	1 年	20,000 時間	センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)	1 年	5 年
電子基板類	1 年	25,000 時間	ドレンパン (注 1)	1 年	8 年
熱交換器	1 年	5 年	ベアリング	1 年	15,000 時間
電子膨張弁	1 年	20,000 時間	ファンベルト	1 年	5,000 時間

注 1. 建築物衛生法 (旧ビル管理法) の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要になります。
以下に示す状況で使用する場合は、保全周期および交換周期の短縮を考慮する必要があります。
① 運転時間が長い場合、頻繁に発停する場合 ④ 温度・湿度の変動が大きい場所
② 振動や衝撃が大きい場所 ⑤ ホコリ・塩分・機械油などの周囲条件の悪い場所
③ 周波数・電圧など電源変動が大きい場所

エアフィルターの掃除

リモコン画面にフィルターチェックマーク「**田!**」が表示され、フィルター掃除についての目安時間などをお知らせします。(簡易表示画面では表示されません。)

- ・「**田!**」が表示されたときは、必ずフィルターの清掃を行ったあとにリセットを行ってください。
※詳細表示画面への切り換えは、省エネneoリモコンの据付説明書をご覧ください。
- ・取り付けられたエアフィルターの種類により掃除のしかたが異なります。工事をされた方、または、お買い上げの販売店にお確かめください。
- ・「**田!**」が表示されているときにエアコンを運転すると、「フィルターの清掃を行ってください。清掃後はメニュー内のフィルター情報でリセットしてください。」と表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、5秒経過すると表示は消えます。



■フィルターチェックマークが表示されているとき (フィルターチェックのリセット)

1 「メニュー画面」で「フィルター情報」を選んで「☐ 設定 / 決定」を押す

2 「☐ 設定 / 決定」を押す

フィルター情報

フィルター清掃が必要です。必ずフィルターの清掃を行った後にリセットを押してください。フィルターの汚れは機器の効率低下、故障の原因になります。

お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めます。
- 次亜塩素酸ナトリウムは使用しないでください。金属部に腐食を起こすおそれがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはがれたりすることがあります。



定期的な点検

長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、除湿水の排水が悪くなったりすることもあります。
通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備 (有料) をおすすめします。

ベアリングの点検と交換

15,000 時間を目安に点検し、必要であれば給油してください。また、回転音に異常がある場合は、交換してください。
給油するグリスは、弊社指定のもの (アルバニア No.2, 3, S3) を使用し、機種ごとに下表の補給量を充填してください。指定以外のグリスを給油すると、故障の原因となります。

機種 (RDA-SUP)	グリス標準補給量 (g)	
	プーリ側	反プーリ側
2241(E)HF	1.6	1.6
2801(E)HF	1.6	1.6
4501(E)HF	6.5	6.5
5601(E)HF	6.5	6.5
6301(E)HF	6.5	6.5
8001(E)HF	6.5	6.5

V ベルトの点検と交換

ベルトの張りが弱いとスリップしたり異常摩耗が生じたりします。必要に応じて点検し、張りの調整を行うとともに、摩耗がひどいときはベルトを交換してください。
《交換上のご注意》
ベルトはレッドベルト (高抗張力ベルト) を使用してください。また、新しいベルトは初期伸びが発生しますので、約 1 か月後に再調整が必要です。詳しくは据付説明書を参照してください。

ドレンパンの点検

ドレンパンの上にゴミなどがたまり、ドレン配管を詰まらせると室内側に水があふれることがあります。定期的に点検し、ドレンパン上のゴミなどを取り除いてください。

短期間使わないとき

日常的な運転停止はリモコンで行い、決してユニットの電源を切らないでください。ケースヒータによる冷凍機油の加熱を怠ると、始動時にフォーミング現象を起こし、圧縮機が損傷することがあります。

長期間使わないとき



- 1 乾燥運転とは別に 1〜2 時間送風運転をして内部を乾燥させる。
- 2 リモコンの「**田!** 運転 / 停止」ボタンを押し、運転を停止して、電源ブレーカーを切る。
- 3 エアフィルター・オイルガードフィルターのお手入れをする。

長期運転停止後の運転

試運転と同じ方法で運転を再開してください。詳しくは据付説明書を参照してください。

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

症 状		原 因
故障ではありません	室外ユニット 白い霧状の冷気や水が出る 時々“ブシュ”という音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●自動的に室外ユニットの送風機が停止し除霜を行っているためです。 ●除霜運転開始および終了時に電磁弁が作動する音です。
	時々“シュー”という音がする	●運転開始時や運転中、停止直後などに、水の流れるような音や運転開始直後2～3分間運転音が大きくなることがありますが、これは冷媒の流れる音や除湿水の排水音です。
	“ピシッ”という小さな音がする	●これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。
	吹き出す風が臭う	●室内側の雑多な臭いがエアコンに付着しているためです。
	「運転準備」表示が点灯している	●外気温度が使用温度範囲外ではありませんか。
	「運転切換管理中」表示が点灯している	●エアコンの管理者によって、冷房または暖房に固定されていて、指定と異なる運転をしようとしたとき。
	「暖房準備」表示が点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ●冷風の吹き出しを防止するために送風を停止したとき。 ●室外ユニットが除霜を行っているとき。
	エアコンの電源を入れたときに“カチカチ”という音がする	●電源を入れたときに膨張弁が動作する音です。
	リモコンの液晶部に触れると液晶表示部にじむ	●静電気により一時的に液晶表示部にがじむ場合があります。
もう一度お調べください	自動的に運転したり停止する	●タイマーが「入」「切」になっていませんか。
	運転しないとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●停電ではありませんか。 ●電源ブレーカーが切れていませんか。 ●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●保護装置が作動していませんか。（運転ランプは点灯している） ●タイマーが「入」になっていませんか。 ●外気温度が使用温度範囲外ではありませんか。 ●室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。
	よく冷えない よく温まらないとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●エアフィルターにホコリやゴミがつかまっていませんか。 ●運転切換が「送風」になっていませんか。 ●設定温度が適正な温度になっていますか。 ●外気温度が使用温度範囲外ではありませんか。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから電源ブレーカーを切り、お買い上げの販売店または弊社支社に形名と症状をご連絡ください。また、リモコンの液晶表示部に点検コードが表示されたときは、その内容もご連絡ください。

なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

次の症状のときはただちに運転を中止し、電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売店または弊社支社にご連絡ください。

- スイッチの作動が不確実なとき
- 電源ブレーカーがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- 右の「知っておいていただきたいこと」の保護装置の作動原因を取り除いても運転できないとき
- その他、いつもと違う状態のとき

知っておいていただきたいこと

運転前の確認

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する12時間以上前に電源ブレーカーを入れます。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外ユニットに霜が付いた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転（約2～10分間）になります。

3分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、電源ブレーカーを入れたときには約3分間、室外ユニットは運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは『運転／停止』ボタンを押しておいてください。

保護装置について

- エアコンに無理がかかったときに運転を停止します。
- 保護装置が作動すると、運転が停止し、リモコンの運転ランプとリモコン表示部の「点検」表示が点滅します。

保護装置がはたらくとき

- 保護装置が作動し、運転を停止した場合は、電源ブレーカーを切り、点検をしてください。
原因を取り除かないで運転すると、故障することがあります。
- エアフィルターが取り付けられているか確認してください。
取り付けられていないと、空気熱交換器などにホコリが付き、水漏れの原因になることがあります。

冷房運転中

- 室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外ユニットの吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- エアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

電源ブレーカーは切らないで

- エアコン使用期間中は、電源ブレーカーを切らず、リモコンの『運転／停止』ボタンで操作してください。

テレビやラジオなどを離して

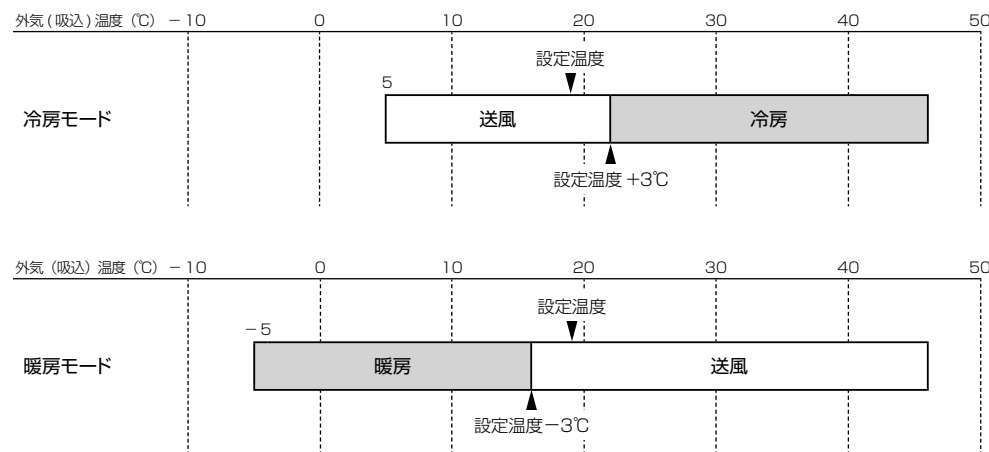
- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオなどを、1m以上離してください。
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

知っておいていただきたいこと (つづき)

ユニット使用範囲

電源電圧	200V ± 10% 以内、相間バランス ± 2% 以内 (※) ※ (最大・最小電圧 - 平均電圧) ÷ 平均電圧 × 100
周囲湿度	90%RH 以下
周囲温度	下図参照

- 冷房モード時、外気（吸込）温度が設定温度 +3℃以下の場合は、自動的に送風運転になります。また、設定温度に関係なく外気（吸込）温度 19℃以下も自動的に送風運転になります。
- 暖房モード時、外気（吸込）温度が設定温度 -3℃以上の場合は、自動的に送風運転になります。また、設定温度に関係なく外気（吸込）温度 15℃以上も自動的に送風運転になります。



お願い

- 「冷房」「送風」で外気（吸込）温度が 5℃以下の場合は機器保護のため、自動的に外気処理エアコンは運転を停止します（リモコンに「運転準備」を表示）。この場合は「暖房」に切り換えて運転してください。
- 「暖房」で外気（吸込）温度が -10℃以下の場合は機器保護のため、自動的に外気処理エアコンは運転を停止します（リモコンに「運転準備」を表示）。外気（吸込）温度 -5℃以下で運転する場合はダクトヒータ（現地対応）により取り入れる空気を -5℃以上にしてください。

運転モードとはたらき

冷房	外気を冷却して室内へ送ります
暖房	外気を加熱して室内へ送ります
送風	外気をそのまま室内へ送ります

- 外気処理エアコンは吹出空気温度をリモコンの設定温度に近づけるように制御を行います。ただし、外気（吸込）温度および同一系統内の空調用室内ユニットの運転状態によっては吹出空気温度が設定温度に近づかないことがあります。

お願い

- 外気処理エアコンは室温の制御はできません。
- 室温制御するには、別に空調用室内ユニットが必要です。

据付について

設置場所について



可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。



禁止



蒸気が多く発生するような場所、蒸気が発生させる機器近傍に室内ユニットの吹出口を設置しない

ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。



禁止

- 室内ユニット・室外ユニットから出る除湿水は、水はけの良いところへ排水してください。
- 室外ユニットの吸込口・吹出口の近くに障害物を置かないでください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに障害物を置くと、運転音増大のもととなります。
- 液化炭酸冷却など化学プラントには使用できません。

次のような場所はさけてください

- 酸性またはアルカリ性雰囲気（温泉地帯・化学薬品工場・すし酢など酸性雰囲気や直接吸い込む場所・燃焼機の排気を吸い込む場所・次亜塩素酸ナトリウムを噴霧する場所など）…熱交換器（アルミフィン・銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。
- 切削油などの機械油の立ち込める雰囲気（場所）…熱交換器の腐食・熱交換器目詰まりによる霧の発生・フィルター目詰まりによる性能低下および結露・プラスチック部品の破損・断熱材のはがれなどを起こすおそれがあります。
- 食用油煙が発生する場所（食用油を使用する厨房・焼肉・お好み焼き店など）…フィルター目詰まりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こすおそれがあります。
- 吹き出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所（気流の乱れにより、能力低下や機器の停止のおそれがあります。）
- 電源に自家発電装置を使用している場所…電源周波数・電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車・船舶など移動するもの
- 特殊用途（食品・動植物・精密機器・美術品の保存など）では使用しないこと（保存物の品質などに損害のおそれがあります。）
- 高周波の発生する機器（インバータ機器・自家発電機・医療機器・通信機器）がある場所（エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じるおそれがあります。）
- 据え付けた下に、ぬれては困るものがある場所（湿度80%以上のときやドレン口が詰まった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じるおそれがあります。）

- 有機溶剤を使用している場所
 - 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
 - 金属粉などの粉塵が発生する場所には据え付けしないでください。
- 金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。

電気配線について



アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アースを確認する



漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取付が必要です。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。



漏電遮断器の確認



正しい容量の電源ブレーカーを使用する

電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。



正しい電源ブレーカーを使用する

移設について

- パッケージエアコンを移設する場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店または弊社支店にご相談ください。なお、移設の場合は実費をいただきます。

〈フロン排出抑制法による冷媒管理のお願い〉

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- フロン類の種類およびGWP（地球温暖化係数）

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R410A	2090

- システム全体でのフロン類に関する種類および数値は、室外ユニットに表示されています。
- エアコンを廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。



点検整備について

- ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになると内部が汚れ、性能が低下することがありますので、9ページの日常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめいたします。

定期点検／簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。

定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
50kW 以上	1年に1回以上

簡易点検は、3ヵ月に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、または専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外ユニット点検	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のにじみ ・機器のキズの有無・熱交換器の腐食・錆など
室内ユニット点検	<ul style="list-style-type: none"> ・熱交換器の霜付きの有無

※室内ユニットのファンモーターは、軸受ブラケットと固定子枠（フレーム）のインロー部や軸貫通部からグリスや油分がにじみ出ることがありますが、故障ではありません。

点検は、安全で容易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へお問い合わせください。

簡易点検に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ： <http://www.env.go.jp/>

移設および廃棄について

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の知識が必要ですので、お買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- 廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。このときのフロン類の回収処理費用を機器廃棄者にご負担いただくことになっていますので、回収業者との間で適切な料金を取り決めてください。（第一種特定製品）
- フロン排出抑制法の回収基準を遵守して確実に回収してください。
- フロン類が回収済みであることを確認してください。
未回収の場合は、第一種フロン類充填回収業者に回収を依頼してください。

保守点検契約について

製品の機能をいつも完全に機能させるためには、正しくご使用いただくと同時に定期的な保守点検が必要です。据付工事業者の方または、お買い上げの販売店または弊社支社店とご相談のうえ、ぜひ保守点検契約することをおすすめいたします。

- いつまでも最良の状態でお使いいただくために……
お手入れの良し悪しで、ユニット本体の寿命やはたらきに大きな差が生じます。
お手数のかからない便利なメンテナンス（保守手入れ）を実費でお引き受けしております。
- 専門の技術員が完全にお手入れいたします
専門の技術員によるシーズン中の定期的な巡回サービスやシーズン前後のお手入れを、実費でお引き受けしております。
- 保守に関するご用命・ご相談はこちらまでご連絡ください。

日本キャリア株式会社 サービス営業部サービスセンター / 0120-1048-37

故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNo. が点滅表示されます。

*点検コードは運転中のみ表示されます。

点検コードと室内ユニットNo.が表示されているときに「戻る」を押すと、「点検情報」画面が表示されます。

「点検情報」画面で「設定/ 決定」を押すと、連絡先が表示されます。
「メニュー」を押すと、「製品形名・製造番号」が表示されますが正しく表示させるには手動入力が必要です。
詳しくはリモコンの据付説明書をご参照ください



点検コード一覧

リモコン表示	点検コード		点検コード名	判定機器
	点検コード	補助コード		
E01	—	—	室内-リモコン間通信異常 (リモコン側検出)	リモコン
E02	—	—	リモコン送信異常	リモコン
E03	—	—	室内-リモコン間通信異常 (室内側検出)	室内基板
E04	—	—	室内外通信回路異常 (室内側検出)	室内基板
E06	E06	正常受信室内台数	室内台数減少	室外 I/F
—	E07	—	室内外通信回路異常 (室外側検出)	室外 I/F
E08	E08	重複室内アドレス	室内アドレス重複	室内基板 室外 I/F
E09	—	—	リモコン親重複	リモコン
E10	—	—	室内MCU 間通信異常	室内基板
E12	E12	01: 室内外通信 02: 室外間通信	自動アドレス開始エラー	室外 I/F
E15	E15	—	自動アドレス中室内不在	室外 I/F
E16	E16	00: 容量オーバー 01 ~: 接続台数	室内接続台数容量オーバー	室外 I/F
E18	—	—	室内親子間通信異常	室内基板
E19	E19	00: センターなし 02: センター2台以上	センター室外台数異常	室外 I/F
E20	E20	01: 他系統室外接続 02: 他系統室内接続	自動アドレス中他系統異常	室外 I/F
E23	E23	—	室外間通信送信異常	室外 I/F
E25	E25	—	ターミナル室外アドレス重複	室外 I/F
E26	E26	正常受信室外台数	室外接続台数減少	室外 I/F
E28	E28	検出室外ユニット番号	ターミナル室外異常	室外 I/F

リモコン表示	点検コード		点検コード名	判定機器
	点検コード	補助コード		
E31	E31	○印: 異常箇所 基板通信異常	基板不良箇所	室外 I/F
		No. 1 2 1 2		
		01 ○ ○		
		02 ○ ○		
		03 ○ ○		
		08 ○ ○		
		09 ○ ○		
		0A ○ ○		
		0B ○ ○		
		10 ○ ○		
		11 ○ ○		
		12 ○ ○		
		13 ○ ○		
		18 ○ ○		
		19 ○ ○		
		1A ○ ○		
		1B ○ ○		
		○: 基板不良		
F01	—	—	室内 TCJ センサ異常	室内基板
F02	—	—	室内 TC2 センサ異常	室内基板
F03	—	—	室内 TC1 センサ異常	室内基板
F04	F04	—	TD1 センサ異常	室外 I/F
F05	F05	—	TD2 センサ異常	室外 I/F
F06	F06	—	TE センサ異常	室外 I/F
F07	F07	—	TL センサ異常	室外 I/F
F08	F08	—	TO センサ異常	室外 I/F
F09	F09	—	TG センサ異常	室外 I/F
F10	—	—	室内 TA センサ異常	室内基板
F11	—	—	室内 TF センサ異常	室内基板
F12	F12	—	TS1 センサ異常	室外 I/F
F13	F13	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) “*” には0~Fが表示されますが、無視してください。	TH センサ異常	圧縮機 基板
F15	F15	—	室外温度センサ誤配線 (TE1, TL)	室外 I/F
F16	F16	—	室外圧力センサ誤配線 (Pd, Ps)	室外 I/F
F22	F22	—	TD3 センサ異常	室外 I/F
F23	F23	—	Ps センサ異常	室外 I/F
F24	F24	—	Pd センサ異常	室外 I/F
F29	—	—	室内その他異常	室内基板
F30	F30	—	人感センサ入力異常	室内基板
F31	F31	—	室外 EEPROM 異常	室外 I/F
H01	H01	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) “*” には0~Fが表示されますが、無視してください。	圧縮機ブレークダウン	圧縮機 基板
H02	H02	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) “*” には0~Fが表示されますが、無視してください。	圧縮機異常 (ロック)	圧縮機 基板
H03	H03	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) “*” には0~Fが表示されますが、無視してください。	電流検出回路系異常	圧縮機 基板
H04	H04	—	圧縮機1ケースサーモ動作	室外 I/F
H05	H05	—	TD1 センサ誤配線	室外 I/F
H06	H06	—	低圧保護動作	室外 I/F
H07	H07	—	油面低下検出保護	室外 I/F

故障診断 (つづき)

点検コード			点検コード名	判定機器																																																																																																											
リモコン表示	室外ユニット7セグ表示																																																																																																														
	点検コード	補助コード																																																																																																													
H08	H08	01：TK1 センサ異常 02：TK2 センサ異常 03：TK3 センサ異常 04：TK4 センサ異常 05：TK5 センサ異常	油面検出用温度センサ異常	室外 I/F																																																																																																											
H14	H14	—	圧縮機 2 ケースサーモ動作	室外 I/F																																																																																																											
H15	H15	—	TD2 センサ誤配線	室外 I/F																																																																																																											
H16	H16	01：TK1 油回路系異常 02：TK2 油回路系異常 03：TK3 油回路系異常 04：TK4 油回路系異常 05：TK5 油回路系異常	油面検出回路系異常	室外 I/F																																																																																																											
H17	H17	1＊：圧縮機 1 側 2＊：圧縮機 2 側 注) ＊＊ には 0 ～ F が表示され ますが、無視してください。	圧縮機異常 (脱調)	圧縮機 基板																																																																																																											
H25	H25	—	TD3 センサ誤配線	室外 I/F																																																																																																											
L02	L02	検出室内アドレス	室内組合せ異常 ※吹出温度制御に設定したユニットと 吹出温度制御非対応ユニットの混在	室外 I/F																																																																																																											
L03	—	—	室内親重複	室内基板																																																																																																											
L04	L04	—	室外系統アドレス重複	室外 I/F																																																																																																											
L05	—	—	優先室内重複 (優先室内に表示)	室外 I/F																																																																																																											
L06	L06	優先室内ユニット台数	優先室内重複 (優先室内以外に表示)	室外 I/F																																																																																																											
L07	—	—	個別室内にグループ線あり	室内基板																																																																																																											
L08	L08	—	室内グループ/アドレス未設定	室内基板																																																																																																											
L09	—	—	室内能力未設定	室内基板																																																																																																											
L10	L10	—	室内能力未設定	室外 I/F																																																																																																											
L17	L17	—	室外機種不一致異常	室外 I/F																																																																																																											
L18	L18	対象室内アドレス	冷暖切替ユニット系異常	室外 I/F																																																																																																											
L20	—	—	集中管理アドレス重複	室内基板																																																																																																											
L28	L28	—	室外接続台数オーバー	室外 I/F																																																																																																											
L29	L29	○印：異常箇所 基板台数異常		室外 I/F																																																																																																											
		<table><tr><th>No.</th><th colspan="2">圧縮機 基板</th><th colspan="2">ファン 基板</th><th rowspan="2">基板不良箇所</th></tr><tr><th></th><th>1</th><th>2</th><th>1</th><th>2</th></tr><tr><td>01</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>圧縮機 1</td></tr><tr><td>02</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>圧縮機 2</td></tr><tr><td>03</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>圧縮機 1 + 圧縮機 2</td></tr><tr><td>08</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>ファン 1</td></tr><tr><td>09</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>圧縮機 1 + ファン 1</td></tr><tr><td>0A</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>圧縮機 2 + ファン 1</td></tr><tr><td>0B</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 1</td></tr><tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>ファン 2</td></tr><tr><td>11</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td>圧縮機 1 + ファン 2</td></tr><tr><td>12</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>圧縮機 2 + ファン 2</td></tr><tr><td>13</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 2</td></tr><tr><td>18</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>ファン 1 + ファン 2</td></tr><tr><td>19</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>圧縮機 1 + ファン 1 + ファン 2</td></tr><tr><td>1A</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>圧縮機 2 + ファン 1 + ファン 2</td></tr><tr><td>1B</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 1 + ファン 2</td></tr><tr><td colspan="6">○：基板不良</td></tr></table>			No.	圧縮機 基板		ファン 基板		基板不良箇所		1	2	1	2	01	○				圧縮機 1	02		○			圧縮機 2	03	○	○			圧縮機 1 + 圧縮機 2	08			○		ファン 1	09	○	○	○		圧縮機 1 + ファン 1	0A	○	○	○		圧縮機 2 + ファン 1	0B	○	○	○		圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 1	10				○	ファン 2	11	○			○	圧縮機 1 + ファン 2	12		○		○	圧縮機 2 + ファン 2	13	○	○		○	圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 2	18			○	○	ファン 1 + ファン 2	19	○		○	○	圧縮機 1 + ファン 1 + ファン 2	1A		○	○	○	圧縮機 2 + ファン 1 + ファン 2	1B	○	○	○	○	圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 1 + ファン 2	○：基板不良					
No.	圧縮機 基板		ファン 基板		基板不良箇所																																																																																																										
	1	2	1			2																																																																																																									
01	○					圧縮機 1																																																																																																									
02		○				圧縮機 2																																																																																																									
03	○	○				圧縮機 1 + 圧縮機 2																																																																																																									
08			○			ファン 1																																																																																																									
09	○	○	○			圧縮機 1 + ファン 1																																																																																																									
0A	○	○	○			圧縮機 2 + ファン 1																																																																																																									
0B	○	○	○			圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 1																																																																																																									
10					○	ファン 2																																																																																																									
11	○				○	圧縮機 1 + ファン 2																																																																																																									
12		○			○	圧縮機 2 + ファン 2																																																																																																									
13	○	○			○	圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 2																																																																																																									
18			○		○	ファン 1 + ファン 2																																																																																																									
19	○		○		○	圧縮機 1 + ファン 1 + ファン 2																																																																																																									
1A		○	○		○	圧縮機 2 + ファン 1 + ファン 2																																																																																																									
1B	○	○	○		○	圧縮機 1 + 圧縮機 2 + ファン 1 + ファン 2																																																																																																									
○：基板不良																																																																																																															
L30	L30	検出室内アドレス	室内ファンモーター異常 (室内外部インターロック)	室内基板																																																																																																											
—	L31	—	室外 I/F 基板異常	室外 I/F																																																																																																											
P01	—	—	室内ファンモーター異常	室内基板																																																																																																											
P03	P03	—	吐出温度 TD1 異常	室外 I/F																																																																																																											
P04	P04	1＊：圧縮機 1 側 2＊：圧縮機 2 側 注) ＊＊ には 0 ～ F が表示され ますが、無視してください。	高圧スイッチ系異常	圧縮機 基板																																																																																																											

点検コード			点検コード名	判定機器
リモコン表示	室外ユニット7セグ表示			
	点検コード	補助コード		
P05	P05	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) * には0～Fが表示されますが、無視してください。	インバータ直流電圧 (Vdc) 異常	室外 I/F
		00: 電源検出エラー 01: 電源欠相 02: 電源誤配線	欠相異常 相順異常	
P07	P07	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) ** には0～Fが表示されますが、無視してください。	ヒートシンク過熱異常	圧縮機 基板
		04: ヒートシンク結露	ヒートシンク結露異常	室外 I/F
P10	P10	検出室内アドレス	室内溢水異常	室内基板
P11	P11	—	室外熱交凍結異常	室外 I/F
P12	—	—	室内ファンモーター異常	室内基板
P13	P13	—	室外液バック検出異常	室外 I/F
P15	P15	01: TS 条件	ガスリーク検出 (TS1 条件)	室外 I/F
		02: TD 条件	ガスリーク検出 (TD 条件)	
P17	P17	—	吐出温度 TD2 異常	室外 I/F
P18	P18	—	吐出温度 TD3 異常	室外 I/F
P19	P19	検出室外ユニット番号	四方弁反転異常	室外 I/F
P20	P20	—	高圧保護動作	室外 I/F
P22	P22	1*: ファン1側 2*: ファン2側 注) ** には0～Fが表示されますが、無視してください。	室外ファン異常	ファン 基板
P26	P26	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) ** には0～Fが表示されますが、無視してください。	IPM 短絡保護異常	圧縮機 基板
P27	P27	—	アクティブフィルタ (AF) 異常	室外 I/F
P28	P28	—	アクティブフィルタ (AF) 誤配線	室外 I/F
P29	P29	1*: 圧縮機1側 2*: 圧縮機2側 注) ** には0～Fが表示されますが、無視してください。	圧縮機位置検出回路系異常	圧縮機 基板
P31	—	—	他の室内異常 (グループ子機異常)	室内基板

その他の故障の原因と対策

故障の内容	原 因	対 策
送風機が回転しない	電源系統	電源系統を点検修正する
	モータ内部の保護装置が働いている	主電源リセット
風量が少ない	エアフィルタの目詰まり	洗浄する
	送風機異常	送風機交換
においがする	電源ボックス部品、モータ発熱	点検・部品交換
送風機回りのガラガラ音	ベアリング	送風機交換
送風機回りのキューキュー音	異常巻き込み	異物除去
冷房 (または暖房) 能力の低下	風量が少ない	送風機を点検する
	冷媒不足	冷媒漏れがないか点検する

仕様

			(50/60 Hz)		
形 名 (注5)		RDA-SUP2241(E)HF		RDA-SUP2801(E)HF	
種 類	機 能		冷暖兼用形		
	ユ ニ ッ ト 構 成		一体形		
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式		空冷形		
	送 風 方 式		ダクト吹出形		
電 源 (注1)		三相 200V 50/60Hz (個別専用電源)			
圧縮機電動機出力×台数		(kW)	5.97 × 1		7.23 × 1
定 格 冷 房 標 準 能 力(注2)		(kW)	22.4		28.0
定 格 暖 房 標 準 能 力(注2)		(kW)	12.4		15.5
定格冷房標準消費電力(注2)		(kW)	7.08/7.27		9.01/9.29
定格暖房標準消費電力(注2)		(kW)	3.87/3.95		4.73/4.81
製 品 質 量		(kg)	394		394
冷 媒		R410A			
地 球 温 暖 化 係 数 (GWP)		2090			
外 形 寸 法 H × W × D (mm)		1790 × 1920 × 795			
送 風 機		シロッコファン (ベルト駆動)			
騒音値	定 格 騒 音 (音響パワーレベル) (注3)	冷房 (dB(A))	82/82		84/84
		暖房 (dB(A))	81/81		83/83
	運 転 音 (音圧レベル) (注4)	冷房 (dB(A))	62/62		64/64
		暖房 (dB(A))	61/61		63/63

(50/60 Hz)							
形 名 (注5)		RDA-SUP4501(E)HF		RDA-SUP5601(E)HF			
種 類	機 能		冷暖兼用形				
	ユ ニ ッ ト 構 成		一体形				
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式		空冷形				
	送 風 方 式		ダクト吹出形				
電 源 (注1)		三相 200V 50/60Hz (個別専用電源)					
圧 縮 機 電 動 機 出 力 × 台 数		(kW)	7.52 × 2		18.4 × 1		
定 格 冷 房 標 準 能 力 (注2)		(kW)	44.8		56.0		
定 格 暖 房 標 準 能 力 (注2)		(kW)	24.8		31.0		
定 格 冷 房 標 準 消 費 電 力 (注2)		(kW)	18.3/18.8		21.4/21.7		
定 格 暖 房 標 準 消 費 電 力 (注2)		(kW)	7.92/8.00		9.76/9.88		
製 品 質 量		(kg)	654		725		
冷 媒		R410A					
地 球 温 暖 化 係 数 (GWP)		2090					
外 形 寸 法 H × W × D (mm)		2300 × 2810 × 820					
送 風 機		シロッコファン (ベルト駆動)					
騒音値	定 格 騒 音 (音響パワーレベル) (注3)	冷房 (dB(A))	86/87		87/88		
		暖房 (dB(A))	86/86		86/86		
	運 転 音 (音圧レベル) (注4)	冷房 (dB(A))	66/67		67/68		
		暖房 (dB(A))	66/66		66/66		

				(50/60 Hz)			
形 名 (注5)			RDA-SUP6301(E)HF		RDA-SUP8001(E)HF		
種 類	機 能		冷暖兼用形				
	ユ ニ ッ ト 構 成		一体形				
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式		空冷形				
	送 風 方 式		ダクト吹出形				
電 源 (注1)			三相 200V 50/60Hz (個別専用電源)				
圧縮機電動機出力×台数		(kW)	9.21 × 1 + 9.21 × 1		7.52 × 2 + 6.13 × 2		
定 格 冷 房 標 準 能 力(注2)		(kW)	67.2		84.0		
定 格 暖 房 標 準 能 力(注2)		(kW)	37.2		46.5		
定 格 冷 房 標 準 消 費 電 力(注2)		(kW)	25.5/26.0		32.9/33.5		
定 格 暖 房 標 準 消 費 電 力(注2)		(kW)	11.8/12.0		14.7/14.9		
製 品 質 量		(kg)	933		1103		
冷 媒		R410A					
地 球 温 暖 化 係 数 (GWP)		2090					
外 形 寸 法 H × W × D		(mm)	2300 × 3820 × 820		2300 × 4420 × 820		
送 風 機		シロッコファン (ベルト駆動)					
騒音値	定 格 騒 音 (音響パワーレベル) (注3)	冷房 (dB(A))	89/90		90/90		
		暖房 (dB(A))	88/88		89/89		
	運 転 音 (音圧レベル) (注4)	冷房 (dB(A))	69/70		70/70		
		暖房 (dB(A))	68/68		69/69		

- (注1) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。
- (注2) 冷房・暖房能力および電気特性は、JRA4074：2017で規定された項目です。
冷房時：室内側入口空気温度33℃DB/28℃WB、外気温度33℃DB、定格風量。吹出設定温度18℃
暖房時：室内側入口空気温度0℃DB、外気温度0℃DB/-2.9℃WB、定格風量、無着霜。吹出設定温度22℃
- (注3) 定格騒音(音響パワーレベル)はJIS B 8616:2015に基づいた値です。
- (注4) 運転音(音圧レベル)は反射音の少ない場所で測定した値(Aスケール)です。
実際に据え付けますと、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きくなる場合があります。
- (注5) 耐塩害仕様は形名末尾に "Z" が、耐重塩害仕様は "ZG" が付きます。

●製品は改良のため仕様の一部を変えることがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 9 年間です。

この期間は、家庭電気製品の経産省の指示に準じています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間

保証期間は、お買い上げ後 1 年間です。

ただし下記使用法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

有償修理となる範囲

- (a) 本説明書に指定した室内温度、外気温度などの使用範囲を守らなかったことによる故障の場合
- (b) 指定冷媒以外の冷媒を使用した場合
- (c) 弊社の製品仕様を据付にあたって改造した場合、または弊社製品付属の保護機器を使用せずに故障となった場合
- (d) 規定の電圧以外の条件による故障の場合および弊社指定以外の汎用のインバータなどを使用した故障の場合
- (e) 弊社以外の業者による運転・調整・保守の不備が原因で起こした故障の場合
 - 塩害
 - 据付場所による故障（化学薬品などの特殊環境条件）
 - 調整ミスによる故障
 - メンテナンス不備（冷媒漏れを気付かなかった場合）
 - 修理作業ミス（部品違い・欠品・技術不良・製品仕様と著しく相違する場合）
 - 冷媒過充填・冷媒不足に起因する故障（始動不良・圧縮機冷却不良）
 - 氷結・雪害による故障
 - 真空運転による空気・水分を吸い込んだと判断される場合
- (f) 天災・火災による故障
- (g) 据付工事に不具合がある場合
 - 据付工事中取扱不良のため損傷・破損した場合
 - 弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
 - 振動が大きく、もしくは運転音が大きいのを承知で運転した場合
 - 軟弱な基礎、軟弱な架台が原因で起こした故障の場合
- (h) 国外で使用した場合
- (i) 車輛・船舶などに使用した場合
- (j) その他、据付・運転・調整・保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での故障は一切保証できません。また、故障に起因した冷却物、営業補償などの二次補償はいたしませんので弊社特約店などと相談の上損害保険のご加入をおすすめいたします

修理を依頼されるときは

（出張修理になります）

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。

修理には、専門の技術が必要です。

保証期間中は

お買い上げの販売店または弊社支社店にて保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

保証書を紛失したときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品 名	
形 名	
製 造 番 号	
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご 住 所	
電 話 番 号	
訪 問 希 望 日	
お 買 い 上 げ 店 名	
電 話 番 号	

お買い上げ店名と電話番号を記入しておくとう便利です。

修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品の代金です。
出 張 料	商品のある場所に技術者を派遣する料金です。
材 料 費	修理に使用した材料の代金です。
運 搬 費	部品を運搬するための料金です。
そ の 他	上記以外で修理にかかる料金です。(破棄費・撤去費など)

MEMO

This image shows a full page of blank handwriting practice paper. It features approximately 20 evenly spaced, horizontal blue dashed lines across its entire width. The background is a solid light gray color. There are no margins, text, or other markings on the page.

MEMO

[illegible]

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店または弊社支社店へご相談ください。

保守に関するご用命・ご相談はこちらまでご連絡ください。

日本キャリア株式会社 サービス営業部サービスセンター／0120-1048-37



日本キャリア株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1ゲートシティ大崎ウエストタワー7階